

# 高島地域センターだより **10**月号

## 10～11月の行事・イベントなど

10月7日(火)	17時30分 ～ 18時30分	子どもを守るネットワークパトロール
10月9日(木) 23日(木)	10時00分 ～ 11時30分	すこやか運動教室(2ページ参照)
10月18日(土)	9時45分 ～ 14時45分	食生活改善推進員養成講座(2回目) (3ページ参照)
10月30日(木)	10時00分 ～ 16時00分	フードドライブ(2ページ参照) ※ご家庭で余っている食品をお持ちください。
11月4日(火)	17時30分 ～ 18時30分	子どもを守るネットワークパトロール
11月9日(日)	9時50分 ～ 12時10分	長崎市立高島小学校創立150周年 長崎市立高島幼稚園創立50周年 記念式典
11月13日(木) 27日(木)	10時00分 ～ 11時30分	すこやか運動教室(2ページ参照)
11月29日(土)	10時00分 ～ 12時00分	高島地区文化祭 (時間は変更される場合があります。)

高島地域センターだより No.97  
発行日：令和7年10月1日(水)  
編集：高島地域センター  
〒851-1315  
長崎市高島町1728番地1  
☎095-896-3110(代表)

高島地域センター管内の人口  
(令和7年8月末現在)  
■人口 230人(R6.8月末258人)  
【男110人、女120人】  
■世帯数 168世帯

高島地域センターだよりのバック  
ナンバー公開中!

アクセスは  
こちらから



被爆80周年ホーム  
ページはこちら



## 国勢調査にご協力をお願いします

### <国勢調査とは>

国勢調査は、国内の人口及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としています。生活環境の改善や防災計画の立案など、私たちの生活に欠かせない様々な行政施策に役立てられる大切な調査です。

### <国勢調査の流れ>

9月下旬ごろから	調査員が皆さまのお宅を訪問し、調査書類を配布します。
10月1日(水) ～ 10月8日(水)	・調査票にご記入のうえ、調査員に提出するか郵送してください。 ・インターネットで回答される方は、調査書類が届いたら、回答サイトにアクセスし、画面の案内に沿って回答してください。
10月17日(金) ～ 10月27日(月)	回答が確認できない場合は、調査員が回答のお願いに伺います。



簡単・便利なインターネットでご回答ください

大好評! 詳しくは、お配りしている調査書類等をご覧ください

**98%** 令和2年国勢調査では インターネット回答した人の98%が「次回もインターネットで回答したい」と答えています。

【調査期日】令和7年10月1日(水) 早めの回答をお願いします  
【調査対象】令和7年10月1日現在、日本国内にふだん住んでいる人すべて(外国人も)を世帯ごとに調査

## 市営住宅にお住まいの皆さま 各種申請・届出はお済みですか？

次のような場合には、市営住宅管理センター（長崎市役所18階）へ届け出てください。

どんなとき？	何を届け出るの？	いつ届け出るの？
入院や長期の旅行などで、引き続き15日以上、市営住宅を空けるとき	一時不使用届	事前にすみやかに
出生、死亡、転出等で同居者に変更が生じたとき	同居者異動届	すみやかに
入居名義人が死亡または転出し、同居人が引き続き入居を希望するとき	入居承継承認申請書	30日以内
親族（3親等以内）を同居させようとするとき （以前アパートに入居していたかたも同じく）	同居承認申請書	同居前にすみやかに
市営住宅から退去しようとするとき	明渡届	退去の5日前までに

詳しくは、市営住宅管理センター（☎829-2991）へお問い合わせください。

## フードドライブへのご協力をお願いします

10月の「食品ロス削減月間」にちなんで、市内でフードドライブが実施されます。高島地域センターでも実施しますので、ご家庭で余っている食品をお持ち寄りください。

日 時	10月30日（木） 10時00分～16時00分
場 所	高島地域センター窓口
ご協力いただきたい食品	未開封で賞味期間まで1か月以上ある常温保存できるもの
お受けできない食品	冷凍食品、冷蔵食品、生鮮食料品、賞味期限が明記されていないもの、賞味期限が切れているもの、賞味期限まで1か月を切っているもの、開封されているもの

※ 詳しくは資源循環課（☎829-1159）へお問い合わせください。

## すこやか運動教室で運動を学びませんか？

日 時	毎月第2・4木曜日 10時00分～11時30分
場 所	高島ふれあいセンター ホール
内 容	家庭でも取り組める筋力アップのための体操や、介護予防に関する講話など
対象者	65歳以上の方
申し込み	登録制のため、事前に申し込みが必要です。下記へお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・深堀・香焼地域包括支援センター（☎895-7007）</li> <li>・南総合事務所 地域福祉課 健康支援係（☎892-1113）</li> </ul>

## 「食改さん」になりませんか

「食改さん（食生活改善推進員）」とは、食を通じて楽しみながら健康づくりをすすめるボランティアです。健康づくりのための料理教室の開催などを行っています。（一般財団法人日本食生活協会が母体となる全国的な組織で構成されている団体で、長崎市には11支部あります）

### ＜食生活改善推進員養成講座（5回シリーズ）＞

	第2回	第3回	第4回	第5回
日時	10月18日（土） 9時45分～ 14時45分	11月17日（月） 13時00分～ 15時00分	12月13日（土） 9時45分～ 14時45分	2月7日（土） 9時45分～ 14時45分
場所	高島地域センター 第1別館	高島ふれあいセン ター	高島地域センター 第1別館	高島地域センター 第1別館
内容	調理実習、講話	運動	調理実習、講話	調理実習、講話
対象者	長崎市民の方で、受講後食改として活動できる方			
申込・お問合せ	南総合事務所地域福祉課（☎892-1113）			

※ 第1回は終了しました。

## 貴金属買取が目的！？ 強引な訪問購入に注意

### 【事例】

年配の女性から「どんなものでも買い取ります」と丁寧な電話があり、洋服の訪問買い取りを了承した。しかし、訪問してきたのは若い男性で、突然「貴金属はないか」と強く言われ、用意していた洋服は車に放り込まれた。怖くなって、亡くなった夫の金歯やネックレスなどを探して渡してしまった。それらを探している間に、買取書のチェック欄に勝手に記入され、近くに置いていた印鑑で捺印までされていた。男性は買い取り代として約25,000円を置いて帰った。（70歳代）



本文イラスト 黒崎 玄

### 【対策】

- 訪問購入をしようとする購入業者が、突然訪問して勧誘をすることは禁止されています。このような禁止行為を行う購入業者を家に入れないようにしましょう。
- 前もって電話等で訪問を約束した場合でも、購入業者は、消費者が事前に承諾していない物品の売却を求めることはできません。売るつもりのない貴金属などの売却を迫られても、むやみに見せず、きっぱり断りましょう。
- 売却する場合は、必ず契約書を受け取り、すぐに物品の種類や買取価格、事業者の連絡先などを確認することが大切です。
- 訪問購入は、条件を満たせばクーリング・オフができ、クーリング・オフ期間中は引き渡しを拒むこともできます。困ったときは、長崎市消費者センター（☎829-1234）にご相談ください。

（見守り新鮮情報 第466号（2023年11月7日）発行：独立行政法人国民生活センター）

## サイエンスアイランド高島への道（その9）

今回も、ながさきBLUEエコノミー副プロジェクトリーダーである長崎大学の有瀧教授に、現在、高島水産研究所で飼育しているブリやシロギスなどのお話をお聞きしました。

### <約200匹のブリも夏バテ気味>

この夏の高島の海水温は想定以上に高く、ブリの飼育には限界の状況になっていました。そこで、大きく成長しそうな約200匹に絞りこんだブリの稚魚を市内多良町にある長崎大学の研究施設に移す準備を進めていたそうです。

ところが、多良町においても海水温が高いことや、高水温による赤潮発生が懸念されたことから、計画は保留され、ブリの稚魚たちは今も高島水産研究所で飼育されています。

人間同様、ブリもこの暑さには相当まいっているらしく、9月上旬現在の大きさは2か月前とあまり変わらず約50cm（約3kg）だそうです。

### <猛暑を乗り切ったブリの稚魚たちの可能性>

5月に新たに追加されたブリの稚魚約5,000匹は、各種実験などに使われたほか、高水温特有の病気で多くが死んでしまい、現在の数は約2,000匹、大きさは20~30cmだそうです。

有瀧教授は、「数は減ってしまったが、この猛暑を乗り切った稚魚は、高水温や病気に強いと言える。結果として暑さに強いブリの選別につながったのではないだろうか。これらのブリの子どもたちも、遺伝的に暑さや病気に強い性質を持っているものが多いはずで、今後、暑さに強いブリをつくり出すことに役立つかもしれない。」と話していました。もちろん、昨年、今年と2度の猛暑を乗り切った上記のブリ約200匹にも同じことが言えるそうです。

### <長崎大学水産学部の学生は熱心に研究に励んでいます！>

高島水産研究所での研究には、長崎大学水産学部の学生が多数参加しています。みんな熱心に研究に取り組み、着々と貴重なデータが集まっているとのことでした。

特に、この夏は2度、研究所に学生たちが泊まり込んで、ブリの稚魚がどのような生活リズムでエサを食べるのか調べるため、寝ずにブリの観察をしたそうです。

今後は現在進めている研究に加えて、ブリの稚魚の飼育に適した水温を探る研究も始める予定とのことでした。

### <シロギスの飼育を開始 その目的は？>

高島水産研究所では新たにシロギス34匹の飼育を始めました。7月下旬に約1万個の卵を産み、約9,000匹がふ化し、9月上旬現在、約4cmに成長しているとのことでした。

シロギスは成長が速く、この後、約1年で15cm程度に成長して卵を産むようになります。シロギスの卵の大きさは約0.6mmで、実はブリの稚魚にとって非常にいいエサだそうです。稚魚の時にいいエサを食べると、稚魚の成長はもちろん、その後のブリの成長にもとてもいい影響を与えるとのことでした。

### <ヒラスズキとコノシロは元気です>

ヒラスズキとコノシロは、この猛暑をものともせず、順調に成長しているそうです。ヒラスズキはこの冬、コノシロは来年の春には産卵する予定とのことでした。

### <高島水産研究所が目指していること>

有瀧教授は、「高島に研究所があることだけでは、地域にとって十分ではない。雇用創出など地域のために役立つようこれからも努めていきたい。」と話していました。



水槽で元気に泳ぐシロギスの赤ちゃん



シロギスの赤ちゃんの顕微鏡写真  
(写真は有瀧教授提供)



COI-NEXT



ながさきBLUEエコノミー

## 地域おこし協力隊員より ～8月の活動報告～

皆さまこんにちは。地域おこし協力隊の池田です。8月は県庁での意見交換会と「長崎市議会 旧合併町活性化対策特別委員会」に出席し、長崎全体のことや高島の未来について様々な提案や説明をしました。

### <県庁での意見交換会>

8月19日（火）に参加した県庁での意見交換会は、長崎県が次期の総合計画を立てるために開かれました。長崎市周辺の賑わいを活かしたまちづくり、二つの世界遺産や長崎市の歴史を活かした賑わいの創出がテーマで、県に私たちの声を直接届ける貴重な機会でした。

私は地域おこし協力隊という立場からだけではなく、「長崎全体をどう元気にするか」という視点から、観光客が市内や離島をスムーズに巡ることができる仕組み、新しい働き手を確保する方法、そして地域の食を活かした体験づくりといった具体的なアイデアを提案しました。

### <長崎市議会 旧合併町活性化対策特別委員会>

8月25日（月）に参加した市議会の特別委員会では、高島町の現在の状況と私の地域おこし協力隊員としての取り組みについて報告しました。また、「スマートアイランド構想」についても話ししました。

「スマートアイランド構想」は国が推進しているもので、デジタル技術を活用したり、交通手段を工夫したりすることによって、人口が少なくなっても安心して暮らし続けられる島を目指すものです。

高島のような小さな島にこそ、このような仕組みが必要だと感じています。これからも、高島の声を県や市にしっかり届けながら、観光が地域の生活に還元される仕組みづくりと一緒に考えていきたいと思います。

### <取材を受けました！>

取材では、コーヒーショップの活動や、私が地域おこし協力隊員になった経緯、現在の高島の様子についてお話ししました。取材記事はインターネットで見られます。（右の2次元コードからご覧ください。）

島外の多くの方々に高島の今を知っていただける、たいへん良い機会になったと感じました。



取材記事はこちら



Instagramはこちら

## 高島フォトダイアリー



### 地域を災害から守るため・・・ ～第47分団教育訓練～

9月7日（日）、高島町を担当地区とする第47分団の教育訓練が行われ、訓練礼式、小型ポンプ操法などの訓練を行いました。

参加した団員らは、南消防署職員の指導に熱心に耳を傾けながら、真剣な眼差しで訓練に取り組んでいました。

また、訓練の後には、南消防署職員から講話があり、消防団の活動中に起こる事故を防ぐためには、日ごろの機械器具点検などで、事故につながりそうな芽を小さいうちに摘み取っておくことが大切であることも学んでいました。

# 飼い主のいない猫への不適切なエサやりはやめましょう

長崎市では、「飼い主のいない猫への給餌等に関する要綱」で「置きエサ」はしないことと定められています。

ところが、島内各所で「置きエサ」が見られ、その「置きエサ」を複数のイノシシが食べているところが目撃されています。

イノシシによる事故が発生する前に、土地・建物の管理者の許可や自治会などの理解が得られていない場所での不適切な「飼い主のいない猫への給餌等」は、やめましょう！

## <各種問合せ先>

高島診療所が休診のとき (休診日:土・日・祝日)	救急の場合 <b>☎119</b> 救急ではない場合は、平日の診療時間内(8時30分~12時00分、13時00分~17時00分)に受診してください。
医療や救急車についての相談	救急安心センター <b>☎#7119</b> ← 迷ったときは 年中無休24時間対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車を呼んだほうがいいのかな?</li> <li>・今すぐ病院に行くほうがいいのかな?</li> <li>・どこの病院に行けばいいのかな?</li> </ul>
市営住宅に関すること	市営住宅管理センター ・月~金 8時30分~17時30分 <b>☎829-2991</b> ・夜間 17時30分~8時30分 土日祝日、年末年始 <b>☎828-0201</b>
災害時、避難所が開設されていないが避難したいとき	防災危機管理室 <b>☎822-0480</b> または あじさいコール(長崎市コールセンター) <b>☎822-8888</b>
土砂崩れなどを発見したら	<b>☎119</b>
粗大ゴミの収集受付	長崎市統一番号 <b>☎801-2200</b>
動物の死がいの回収	崎永海運(株)(たかしま農園) <b>☎801-1454</b>
家電4品目の収集受付	福島清掃 <b>☎848-9645</b>
定期船の欠航など	野母商船(株) <b>☎826-6238</b>
防災行政無線情報	<b>☎050-5530-9908</b> 
高島のイベント、高島のその他情報	高島観光ナビ 
「高島地域センターだより」への掲載依頼	高島地域センターに早めにお知らせください。 <b>☎896-3110</b>
市役所の手続きなど	あじさいコール(長崎市コールセンター) <b>☎822-8888</b>
	平日 8時00分~19時00分 土日祝日・12月29日~1月3日 8時00分~17時00分
市政に関する動画	YouTube(ユーチューブ) 長崎市公式チャンネル 